

# 英語科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時  
 対 象 第1学年E組  
 場 所 第3学習室

## 1 単元(題材)名

You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・「ドリームファミリー」の紹介から、その人物の名前、家族関係、性格、できることなどの情報を正確に聞き取ることができる。 ・人物の家族関係、性格、できることなどを、簡単な語句や文を用いて正確に話すことができる。	・「ドリームファミリー」のキャストイングを考えるために、決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取り、適切に理解している。 ・CM に採用されるために、グループで考えた「ドリームファミリー」を適切な表現を使って紹介している。	・「ドリームファミリー」のキャストイングを考えるために、決定済みの家族の紹介から、名前や選ばれた理由などを聞き取ろうとしている。 ・グループの企画のよさが友達に伝わるように紹介しようとしている。

## 3 展開 (全3時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】	
1	p100-101	○listening:情報を正確に聞き取る。 ・「ドリームファミリー」の紹介を聞いて、名前や選ばれた理由などを聞き取り、理解する。 集「ドリームファミリー」の他の人物の設定をグループで考える。
2	p101	○thinking:残りの家族構成を考える。 個グループで考えた家族の紹介の言葉を班員でそれぞれ分担して考える。 集グループ内で発表し合い、聞いている人が分かりやすいように改善していく。 ★【活動の工夫】人物の家族関係や性格などの説明を、より適切な表現をグループで考えることで、英語表現についての理解を深める。
3 (本時)	p101	○speaking:グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる 集グループ毎に「ドリームファミリー」を紹介し、CM に採用する「ドリームファミリー」をクラスで決定する。 ★【問いの工夫】「紹介画像を活用して、「ドリームファミリー」を友達に伝える工夫をしてみよう。」 ★【活動の工夫】グループの発表を通じて、自分の説明の良さと課題を振り返る。

#### 4 本時の展開

ねらい:グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (15分)	○Greeting ○Song ○Story Retelling	・一般動詞の s/es に注意する。 ・既習表現の確認	
展開 (25分)	○Preparation ・グループで発表の準備をする。		【主】 より分かりやすく伝えようと準備内容を見直している。(観察)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     タブレットに作成した紹介画像を活用して、「ドリームファミリー」を友達に伝える工夫をしてみよう。                 </div> ○Presentation 集紹介映像を活用して、グループの「ドリームファミリー」を紹介する。  ★【活動の工夫】 自分の発表がクラスの友達に理解してもらえるように、発表時の態度・声の大きさ・流暢さなどの工夫を意識させる。  ○CM 採用班の決定 集グループごとに、推薦するグループとその理由を発表する。	・既習表現を活用して発表文をまとめるよう支援する。	【知・技】 ・発表内容を正確に伝えている。(発表)
終末 (10分)	○まとめ ・グループの発表を振り返って、自己評価をする。		【思・判・表】 自分の説明の良さ と課題を振り返り、個人でドリームファミリーの紹介ができるか考える。 (振り返りシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 音楽科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第1学年D組

場 所 第2音楽室

## 1 単元(題材)名

豊かな響きで表現しよう(教材 クラス合唱曲「COSMOS」)

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・表現豊かな合唱に必要な知識、技術を理解している。 ・表現豊かな合唱に必要な技術を身に付け、歌によって体现できる。	・豊かな響き、人に伝わる表現に関わる自分たちの課題に気づき、その課題を解決するために工夫することができる。	・豊かな響きで合唱することに対して、課題解決に向けて主体的に考え、学習に取り組んでいる。

## 3 展開 (全8時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○正しいリズム、音程で「行き先」を合唱できるようにする。 ・学習カードの記入方法を理解する。【個】 ・範唱CDを活用して、自分のパートのリズム、音程を理解し、歌えるようにする。【集】
2	○正しいリズム、音程で「行き先」を合唱できるようにする。 ・範唱CDを活用して、自分のパートのリズム、音程を理解し、歌えるようにする。【集】
3	○正しいリズム、音程で「行き先」を合唱できるようにする。 ・パートごとに範唱CDを活用して、生徒主体のパート練習を進める。
4	○周りとのハーモニー、バランスを意識しながら合唱できるようにする。 ・パートごとに範唱CDを活用して、生徒主体のパート練習を進める。 ★【問いの工夫】「自分のパートの課題を解決する効果的な練習を考え、実践しよう。」 ★【活動の工夫】課題のタイプ毎に、効果的な練習方法のヒントを伝え、生徒主体の練習環境を整える。 ・響きの向上→母音法 ・リズムを揃える→手拍子練 ・フレージングづくり→ハンドサイン
5	○周りとのハーモニー、バランスを意識しながら合唱できるようにする。 ・母音法、手拍子練、ハンドサイン練習など様々な工夫をして練習を進める。【個】 【集】 ★【活動の工夫】前時に実践した練習方法の工夫を継続し、習慣づける。以降の授業でも同様に実施する。
6 (本時)	○豊かな響き、人に伝わる合唱に近づけるための課題を考えて練習に取り組む。 ・母音法、手拍子練、ハンドサイン練習など様々な工夫をして練習を進める。【個】 【集】
7	○豊かな響き、人に伝わる合唱に近づけるための課題を考えて練習に取り組む。 ・個人、パートで課題を確認、共有して解決に向けた練習を進める。
8	○豊かな響き、人に伝わる合唱に近づけるための課題を考えて練習に取り組む。 ・個人、パートで課題を確認、共有して解決に向けた練習を進める。

#### 4 本時の展開

ねらい:課題解決に向けて練習内容を工夫して実践する

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (12分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>個</b>自己の目標、活動内容を学習カードに記入する。</li> <li>・合唱ウォーミングアップ</li> </ul>		
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「COSMOS」を合唱する。</li> <li>○各パートの課題確認</li> <li><b>集</b>パート自主練習</li> </ul>		
	<p>自分のパートの課題を解決する効果的な練習を考え、実践しよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○練習の工夫を取り入れて練習</li> <li>★【場面の工夫】課題のタイプ毎に、効果的な練習方法のヒントを伝え、生徒主体の練習環境を整える。</li> <li>(例)</li> <li>響きの向上→母音法</li> <li>リズムを揃える→手拍子練</li> <li>フレージングづくり→ハンドサイン</li> <li>・全体で「COSMOS」を合唱する。</li> <li>○課題解決に近づいた点の講評を聞く。</li> </ul>		<p>【主】 課題に応じて練習内容を工夫したり修正したりしようとしている。(観察)</p> <p>【知・技】 表現豊かな合唱の技術を理解している。(ワークシート)</p>
終末 (8分)	○自己評価、振り返りを記入する。	・個別に補助が必要な生徒への支援を行う。	【思・判・表】 自己の目標に対しての振り返りを行おうとしている。(学習カード)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 家庭科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時  
 対 象 第1学年C組  
 場 所 1年C組教室

## 1 単元(題材)名

中学生に必要な栄養を満たす食事

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概要が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

## 3 展開 (全6時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○中学生に必要な栄養素 ・中学生に必要な栄養の特徴を理解する【個】
2	○栄養素のはたらき ・栄養素の種類とはたらきを理解する【個】
3	○水分と食物繊維 ・食品成分表の見方について理解する【個】
4	○食品群別摂取量のめやす ・食品群別摂取量のめやすについて理解する【個】
5	○栄養バランスの良い弁当をデザインしよう① ・献立の立て方を理解する ・栄養バランスのとれた弁当の献立を考える【個】 ★【活動の工夫】次時に向けて、個人でお弁当の献立を考える。お弁当を作る対象を自分で設定することで、意欲的に取り組ませる。
6 (本時)	○栄養バランスの良い弁当をデザインしよう② ・互いの献立にアドバイスを【集】 ・アドバイスを元に弁当の献立を考え直す【個】 ★【活動の工夫】班員のお弁当に対して、お互いにアドバイスし合い、意見を取り入れることで、自分の献立への考えを深めさせる。

#### 4 本時の展開

ねらい:栄養バランスの良い弁当をデザインする

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (7分)	○本時の課題を確認する 個6つの基礎食品群を確認する。	・考えた献立に互いにアドバイスすることを伝える ・食品群について、カードを用いて確認させる ・不足しがちな食品群について意識させる。 ・選んだ人の年齢や好みなども意識できるとさらに良いことを伝える。	
展開 (38分)	<p>班員のお弁当にお互いアドバイスし、意見を取り入れることで、自分の献立をより良いものにしていこう。</p>		
	集各自が考えた献立について意見交換をする。  個班員からのアドバイスを元に献立を再検討する ★【場面の工夫】班員のお弁当に対して、お互いにアドバイスし合い、意見を取り入れることで、自分の献立への考えを深めさせる。	・工夫している点や改善した方がいい点など、アドバイスを付箋に記入し、貼るように指示する。 ・栄養バランスの他、弁当全体のいりどりや、食べる人の好みを考えるとさらに良いことを伝える。	【主】積極的にアドバイスを記入し、互いの工夫点を取り入れようとしている。(付箋)(ワークシート)  【知・技】お弁当の献立を作成することができる。(ワークシート)
終末 (5分)	○まとめの記入 ・献立作成で工夫した点を記入する。	・どのアドバイスを取り入れたかわかるよう、付箋に番号を書くよう指示する。	【思・判・表】栄養バランス、いりどり、好みなど複数の項目を通じて献立について考察しようとしている。(ワークシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 社会科学学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5 校時  
 対 象 第1学年A組  
 場 所 1年A組教室

## 1 単元(題材)名

世界の諸地域 ～ヨーロッパ州～

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。	・国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。

## 3 展開 (全6時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○ヨーロッパ州の自然環境 個 集 ・ヨーロッパ州の地形・気候の特色を、地図や主題図の読み取りから、理解する。 ・ヨーロッパ州の歴史を概観し、単元を貫く問いを立てる。 <b>★【問いの工夫】EUはこの先、どうあるべきか。</b>
2	○EUの成り立ちとその影響 個 ・2度の世界大戦がヨーロッパにもたらした影響について捉える。 ・EUの誕生、拡大の経緯や国家間の結び付き、国家統合のメリットとデメリットを理解する。
3	○ヨーロッパの農業とEUの影響 個 ・ヨーロッパ州の農業の地域の違いを調べ、その特徴を理解する。 ・EUの取組がヨーロッパ州の農業にもたらした影響を複数の視点から考える。
4	○ヨーロッパの工業とEUの影響 個 ・ヨーロッパ州の工業の特徴とEU統合の影響と課題について理解する。 ・EU加盟後のヨーロッパ州の変化を読み取り、その背景と影響を複数の視点から考察する。
5	○EUの現在 個 集 ・ドイツ、イギリス、クロアチア、トルコから見たEUのメリット・デメリットについて理解する。 ・討論や単元を貫く問いに答えるための資料を集める。
6 (本時)	○EUの未来 集 個 ・EUの未来について、それぞれの立場から討論する。 <b>★【活動の工夫】グループでEUの実質的なリーダーであるドイツ、脱退したイギリス、近年加盟したクロアチア、加盟したいトルコの立場からEUの未来について考えさせることで、多角的な視点があることに気付かせる。</b> ○自分の考えをまとめる。

#### 4 本時の展開

ねらい:EUがこの先どうあるべきか、それぞれの国の立場から討論し、その結果を踏まえた上で、自分の考えをまとめることができる

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○前時までの振り返り 個EUに関わる国がそれぞれ抱える問題を振り返る	・これまでの学習の振り返りを簡単に行ってから、課題を捉える。	
<b>「EUはこの先、どうあるべきか。」</b>			
展開 (40分)	○グループで討論 集ドイツ、イギリス、クロアチア、トルコの立場にたって、4人グループで話し合う。  ○考えの共有 集4人グループで話し合った内容を発表し、新たな視点や資料を発見し、自分の考えを練り上げる。 ★【活動の工夫】グループでEUの実質的なリーダーであるドイツ、脱退したイギリス、近年加盟したクロアチア、加盟したいトルコの立場からEUの未来について考えさせることで、多角的な視点があることに気付かせる。  ○レポートの記入 個話し合ったことを基に自分の考えを記入する。	・予め自分で用意した資料も使いながら、自分の考えを発表させる。 ・各国の思いとその根拠を明確にしなが、発表させる。  ・自分では気付かなかった視点や資料を中心にメモさせる。 ・どのような話し合いとなったのか、簡潔に説明させる。  ・200 字程度で書かせる。	【思・判・表】 EUの未来について、どうあるべきか、自分の考えを表現しようとしている。【ワークシート】  【主】 自分の考えと他の人の考えを比べながら、付け足したり、整理したりしようとしている。(ワークシート)
終末 (5分)	○学習のまとめ ・ヨーロッパ州の学習で学んだことを発表する。	・自分の気付きや深まったことなどを発表させる。	

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 保健体育科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第1学年B組

場 所 1年B組教室

## 1 単元(題材)名

体育理論(教材「運動やスポーツの多様性」運動やスポーツの多様な楽しみ方)

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。	・運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。	・運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができるようにする。

## 3 展開 (全3時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○運動やスポーツと人々の関わり① ・運動やスポーツは、人々が求める必要性や楽しさを満たすものとして生み出され、発展してきたことを理解する。 ・人はなぜ運動やスポーツを行うのかについて考える。
2	○運動やスポーツと人々の関わり② ・運動やスポーツには多様な関わり方があることを理解する。個 集 ・運動やスポーツとこれからどのように関わっていくかを考える。個 ★【活動の工夫】「行う・見る・支える・知る」の4つのグループに分かれて考え、意見を出し合うことで多くのケースがあることに気づかせ、自分自身の運動・スポーツの関わり方を深めさせる。
3 (本時)	○運動やスポーツの楽しみ ・運動やスポーツには自分に合った楽しみ方や工夫の仕方があることを理解する。個 集 ・スポーツライフ設計を通して、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむために大切なことを考える。個 ★【問いの工夫】「個人で考えたスポーツライフを班で共有して、より充実したスポーツライフを提案してみよう。」 ★【活動の工夫】架空の人物の運動・スポーツプランを個人やグループで考えることによって、多くのケースがあることに気づかせ、自分自身のスポーツライフの考え方を深めさせる。

#### 4 本時の展開

ねらい:運動やスポーツには自分にあった楽しみ方や工夫の仕方があることを理解するとともに、生涯にわたって運動やスポーツを楽しむために大切なことを考える

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○前時の振り返り	「行う」「見る」「支える」「知る」を振り返らせる。	
展開 (30分)	○ねらいの確認 ・教科書を読む。  個与えられたモデルについてどのようなスポーツライフが送れるかプランを考える。	・自己に適した多様な楽しみ方を見つけたり、工夫したりすることが大切であることを押さえる。  ・前時の内容を参考にさせる。	
	<p>個人で考えたスポーツライフを班で共有して、より充実したスポーツライフを提案してみよう</p>		
	集個人で考えたスポーツライフを班で考え、よりよいプランを考える。  ○班の代表者が発表し、クラス全体で共有する。		【主】 他者の意見も参考にしながら、モデルに適した運動やスポーツライフを考えようとしている。 (観察)
終末 (15分)	個これまでの学習をふまえ、自分自身のスポーツライフを設計し、班員に伝える。	・他人のプランのいい所を探しながら聞くように促す。	【思・判・表】 自分自身に置き換えてスポーツライフを作っている。 (ワークシート) 【知・技】 スポーツライフについて理解して発表したり、他者の提案の良いところを聞くことができたりしている。 (ワークシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 技術科学学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第2学年E組

場 所 2年E組教室

## 1 単元(題材)名

情報の技術 (情報セキュリティと情報モラル)

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則について理解できる。 ・情報を収集・発信する際に必要な情報モラルの必要性について理解している。	・情報の技術に込められた工夫を読み取ることができる。 ・情報の技術の見方・考え方に気づくことができる。	・主体的に理解し、技能を身につけようとしている。 ・自分なりに解決策を考えることができる。

## 3 展開 (全2時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○不正アクセスから身を守る方法を知る。 ・不正アクセスに関する資料や動画を見て、話し合い活動を行う。 個 集 個 ★【活動の工夫】不正アクセスについて、各自の経験の中で近い出来事はなかったかなどを共有することで、より身近な問題であることを実感させる。
2	○情報漏えいから身を守る方法を知る。 ・情報漏えいによってどんな被害があるかを考える。 個
3 (本時)	○情報モラルが必要な意味を理解する。 個 集 ・Jamboard を使用して、情報防災訓練を行う。 個 集 個 ★【問いの工夫】「情報の信頼性について考えよう。」 ★【活動の工夫】情報モラルの必要性を理解した後に、情報トラブルの事例について集団で考えることで、一つの情報が様々な捉え方をされることや、誤った情報の伝達が行われることについて理解を深める。

#### 4 本時の展開

ねらい:情報を発信する際、受け取る際に注意すべきことは何か考える

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (10分)	○情報モラルとは何かを考える。 <input type="checkbox"/> 普段どのようにして情報を得ているのか想起させる。 <input type="checkbox"/> 情報の得方には多様な方法があることを確認する。 ・メディアの特性を理解させる。	情報モラルと聞いて思いつくことを書き出させる。Board	
展開 (35分)	○情報防災訓練に取り組む。 <input type="checkbox"/> Jamboard を使用して、情報の共有を行う。	手順についてスライドを使用しながら説明する。	
	情報の信頼性について考えよう。		
	<input type="checkbox"/> 結果をクラスで共有する。 ★【場面の工夫】情報モラルの必要性を理解した後に、情報トラブルの事例について集団で考えることで、一つの情報が様々な捉え方をされることや、誤った情報の伝達が行われることについて理解を深める。  <input type="checkbox"/> グループごとに災害時における情報のトラブルについて考える。 ・ フェイクニュースの例を紹介する。 ・ 情報は「だいふく」で見極める。 だ…「誰が言ったのか」 い…「いつ言ったのか」 ふく…「複数の情報を確認したか」	どこに注目して情報を見極めるのか考えさせる。	【主】 解決策を考えたり、より良い解決策を他者の意見から見出そうとしたりしている。 (ワークシート) (観察)  【思・判・表】 情報トラブルの原因について考えようとしている。 (ワークシート)
終末 (5分)	○ワークシートに振り返りの記入を行う。 <input type="checkbox"/> 情報社会を生きていくうえで重要なことは何か記入する。	文字と対面ではコミュニケーションをとることへの違い、難しさについて考えさせる。	【思・判・表】 今後、どのように情報とかかわるべきなのか考えようとしている。 (ワークシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 国語科学習指導略案

日時 令和5年1月20日(金)5校時

対象 第2学年B組

場所 2年B組教室

## 1 単元(題材)名

複数の情報を関連づけて考えをまとめる「石神井西中学校の読書離れについて考えよう」

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・情報と情報との関係の様々な表し方について理解し、使っている。	・複数の情報の中から適切な情報を得て、理解したことを自身の知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げている。	・複数の情報を見比べながら内容を解釈し、得た情報から自分の考えをまとめようとしている。

## 3 展開(全4時間)

時間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○正しい情報の見つけ方について知る。 ・1つのテーマについて異なる観点から分析したデータを読み取り、必要な情報を選択する方法を知る。個 集
2 (本時)	○複数の情報(データ)を見比べて、自分の考えをまとめる。 ・「石神井西中学校の図書室利用」に関するデータを読み取り、自分の考えをもつ。個 集 ★【問いの工夫】「石神井西中学校の図書室利用者を増やすためには、どうすればよいか考えよう。」 ★【活動の工夫】生徒にとって身近なテーマを題材にして、課題に取り組みやすいようにする。いくつもの解決方法がある問いを投げかけ、生徒同士の交流場面を増やし、多面的にテーマについて考えさせる。
3	○得た情報をもとに、自分の考えを文章で表現する。 ・「石神井西中学校の図書室利用」について考えたことを整理し、文章でまとめる。個
4	○書いた文章を読み合い、自分の考えを深める。 ・書いた文章を読み合い、読み手に伝わりやすい書き方を考える。個 集 ★【活動の工夫】話し合いの時との言葉の使い分けについて意識させる。「話し言葉」と「書き言葉」は違うことを確認し、「話し手」「読み手」を意識した意見の伝え方について考えさせる。

#### 4 本時の展開

ねらい:複数のデータを見比べて、自分の考えをまとめる

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○前時の復習 ・情報収集のコツについて確認する。 ○本時の流れの確認	・データでは、他のものと比べて極端に数値が変わるものなどに注目してみること。 ・気になったところに色をつけるなどし、視覚的に整理すること。	
展開 (40分)	<p style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><b>石神井西中学校の図書室利用者を増やすためには、どうすればよいか考えよう。</b></p> <p>○資料の読み取りと検討  <b>個</b>複数のデータを確認する。 (資料)            ・「石神井西中学校の任意の1か月の資料貸し出し状況(各学年ごと)」            ・「任意の1週間の来館者数(各学年ごと)」            ・「分類ごとの所蔵冊数」            ・「近隣の図書館(関町図書館)の資料貸し出し状況」</p> <p><b>集</b>資料を読み、気づいたことについて話し合い、利用者の増加策について考える。  <b>★【場面の工夫】</b>            個人で考えた後、4人グループで人数を増やして考えることで、多面的に問いについて考える。</p>	<p>・個人で考えるときには「資料を読んで気づいたこと」を中心に考えさせ、4人グループになったときに主発問について深く考えられるようにする。</p> <p>・4人グループで意見を出し合う際、データや実体験などの根拠をもとに話し合いができるようにする。            ・最終的にまとまった意見をホワイトボードに書かせ共有することで、視覚的に他のグループの意見がわかるようにする。</p>	<p><b>【知・技】</b>            データを正確に読み取ることができたか。(ワークシート)</p> <p><b>【主】</b>            複数のグラフを比較したり、他者の意見を聞いたりして、多面的に意見を見出そうとしている。 (ワークシート) (観察)</p>
終末 (5分)	○振り返り ・データをもとに対応策を考えたか考える。		<b>【思・判・表】</b> 複数のデータをもとに考える必要性に気付いている。 (学習カード)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 数学科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第2学年C組

場 所 2年C組教室

## 1 単元(題材)名

5章 三角形と四角形 2節 四角形「面積が等しい三角形」

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定義と定理の意味を理解し、三角形や四角形に関する定理や性質を使って角の大きさや辺の長さを求めることができる。</li> <li>・面積が等しい三角形の性質について理解し、図の中から等しい面積を答えたり、面積が等しい形に変形することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形や四角形に関する定理や性質を論理的に考察し、照明することができる。</li> <li>・命題がつねに成り立つとは限らない場合を、反例をあげて説明することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動の楽しさやよさを実感し、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善し、よりよく問題解決しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>

## 3 展開 (全 11 時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○平行四辺形の性質を見だし、それらが成り立つことを論理的に確かめ、表現する。
2	○平行線の性質 ・平行四辺形の性質をもとに、新たな平行四辺形の性質が成り立つことを確かめる。個 集 個 ★【活動の工夫】複数で考え方を確認する時間を毎時間もち、その後、個人で練習問題に取り組むパターンを定着させることで、自己の理解度を把握できるようにする。
3	○平行四辺形の性質 ・平行四辺形の性質を利用して、新たな図形の性質を証明する。個 集 個
4	○平行四辺形になるための条件 ・証明を通して、平行四辺形の理解を深めるとともに、論理的に確かめ表現する。個 集 個
5	○1組の対辺が平行でその長さが等しい四角形をかくことを通して、平行四辺形になるための条件を論理的に確かめ表現する。個 集 個
6	○平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。個 集 個
7	○長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の特別な場合であることを理解し、それらの対角線の性質をまとめる。個 集 個
8	○長方形、ひし形、正方形の対角線の性質を論理的に確かめ、理解を深める。個 集 個
9	○底辺が等しい三角形において、それらの面積が等しくなるためには高さが等しくなればよいことを理解し、それを証明に用いる。個 集 個
10	○面積が等しい三角形の性質を見だし、それを証明に用いる。個 集 個
11 (本時)	○三角形の面積についての定理を用いて、具体的な問題を解決する。個 集 個

4 本時の展開

ねらい: 三角形の面積についての定理を用いて、具体的な問題を解決する

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○本時のねらいを確認し、前回の学習内容を振り返る。		
展開 (30分)	<p>★【場面の工夫】時間を明確に区切って展開する。</p> <p>①「聴く」 ②「解く」<input type="checkbox"/> ③「学び合う」<input type="checkbox"/> ④「試す」<input type="checkbox"/> ⑤「まとめる」</p> <p>○面積を変えずに図形を変形する問題について考える。</p> <p>○面積を変えずに図形の境界部分を変える問題について考える。</p>	<p>・面積が等しい三角形の性質が使えることを伝え、どのようにして使えばよいかを問う。</p>	<p>【知・技】 三角形の面積についての定理を理解している。(ワークシート)</p> <p>【主】 周囲と協力しながら、面積が等しい三角形の性質を理解しようとしている。(ワークシート)(観察)</p>
	<p>面積が等しい三角形の性質が、どのように使えるかな？</p>		
	<p>○練習問題を解く。<input type="checkbox"/> (1)面積が等しい図形に変形する。 (2)面積を変えずに境界線を変える。</p> <p>・生徒同士で確かめる。<input type="checkbox"/></p> <p>・本時の学習を振り返る。</p>	<p>・前回の授業で学習した面積が等しい三角形の性質を板書して、確認ができるようにする。</p>	
終末 (15分)	<p>○確認プリントを解く。<input type="checkbox"/></p> <p>○学習カードを記入する。</p>		<p>【思・判・表】 定理を用いると容易に問題を解くことができることに気付いている。 (学習カード)</p>

○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 美術科学習指導略案

日時 令和5年1月20日(金)5校時

対象 第2学年F組

場所 第一美術室

## 1 単元(題材)名

美術館をつくろう

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・筆触分割がもたらす効果を理解できる。 ・企画展の意味を理解し豊かな発想力をもって企画を考える。	・作品に対する思いや考えを述べ合い、互いの意見を尊重しながら、見方や感じ方を広げている。 ・ターゲットにあった作品を選び自分の美術館の企画展を発想し、構想を練ることができる。	・形や色彩などの特徴や印象、本質的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じようとしている。 ・絵の特徴を捉え選ぶことができる。

## 3 展開 (全3時間)

時間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○オリエンテーション 個 ・印象派を時代背景とともに知る ・作品を知る
2	○企画展を企画する 個 集 ・個人で企画の構成を練る ・グループになり、それぞれが考えた企画を発表する ・どんな美術館をつくるかグループで話し合う
3 (本時)	○発表 集 ・グループで発表を行なう ★【問いの工夫】「ターゲットにあった美術館をつくるにはどんな工夫が必要か。」 ★【活動の工夫】複数の視点を知ること、鑑賞者の視点に立って考えることができるようにする。

#### 4 本時の展開

ねらい:ターゲットにあった美術館をつくることができる

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○前回までの振り返り ○ねらいの確認	・ターゲットを確認させる。	
展開 (30分)	<b>ターゲットにあった美術館をつくるにはどんな工夫が必要か。</b>		
	<p>○美術館の工夫を確認する。  <input checked="" type="checkbox"/>グループごとに、適切な工夫になっているかを確認し、発表内容をまとめる。  <b>★【活動の工夫】複数の視点を知ること、鑑賞者の視点に立って考えることができるようにする。</b></p> <p>○発表  <input checked="" type="checkbox"/>工夫した内容が適切かを確認しながら聞く。また、発表者は、なぜその工夫をしたのか、ターゲットに関連付けて説明する。</p>	<p>・どんな美術館に行きたくなるのかを考えさせる          ・作品の配置する場所や設置するものにも意味をもたせるよう伝える・          ・見てもらうことを意識して制作させる。          ・必ずメンバー全員が話すよう指示する。</p> <p>・発表グループの企画展の良いところを探しながら聞くように指示する</p>	<p><b>【主】</b>          ・ターゲットのことを考えて企画展の工夫を重ねている。(作品)</p> <p><b>【思・判・表】</b>          ・発表グループの発表の工夫が適切かを考えながら聞こうとしている。          (ワークシート)</p>
終末 (15分)	○振り返り <input checked="" type="checkbox"/> ターゲットに応じた企画展の工夫について考えて記入する。	・良い工夫を積極的に評価するように指示する。	<b>【思・判・表】</b> ・様々な角度の考えを聞き視野を広げて企画展をかんがえようとしたか。 (ワークシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 理科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第2学年A組

場 所 第二理科室

## 1 単元(題材)名

明日の天気を予想しよう

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・気象要素と天気の変化との関係に着目し、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。	・日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係を見いだして表現する。	・日本の気象、自然のめぐみと気象災害に関する事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。

## 3 展開 (全6時間)

時間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1	○日本列島付近の風の動き ・日本列島付近では陸と海の温まりやすさの違いから冬と夏で風向が変わることを理解する。 ・季節風、海陸風の説明を聞き、理解する。
2	○気象データの読み取りと整理 ・複数のデータの情報を整理することにより、天気の変化を予測することができないかを考える。 ・翌日の天気を予想するにはどのようなデータが必要かを検討する。 ★【活動の工夫】気象に関する複数のデータの読み取り方をグループで確認し、技術を確実に身につける。
3 (本時)	○明日の天気を予想しよう ・各種観測データの解析結果から、自分の住む地域の天気がどのように変化するかを予想する。 個風の流れや衛星画像により気象観測を行い、本日の天気図を作成し天気を予想する。 集天気図を持ち寄り意見交換を行う。グループで一つの天気図を完成し、天気を予想する。 集気象庁発表の本日の天気図を元に、今日・明日の天気予報文を作成し、発表を行う。 ★【問いの工夫】気象観測データから、気象現象を推察し、明日の天気予報を作ろう。 ★【活動の工夫】天気図の作成、実際の天気図との比較を通じて、気象データについての理解を深める。
4	○日本の冬と夏に生じる特徴的な天気が生じる理由について考える。 ・日本の夏と冬の天気を、影響している気団に着目して、特徴を知る。 ・冬の日本海側の天気の特徴と太平洋側の天気の特徴について考える。
5	○日本の春と秋に生じる特徴的な天気が生じる理由について考える。 ・春と秋の天気を、影響している気団の有無を判断して、特徴を知る。 ・梅雨と梅雨前線、秋雨前線の説明を聞き、特徴を知る。 ・台風についての説明を聞き、特徴を知る。
6	○雨がもたらすめぐみや災害について考え、話し合う。 ・雨によってもたらされるめぐみや予想される気象災害についてについて、インターネットなどの情報や資料などから調べ、発表を行う。また気象災害についてはその影響を最低限にするための防災の方法を知り、災害を予想し生活の中に生かす工夫について話し合い、発表を行う。

#### 4 本時の展開

ねらい:気象に関するデータを収集・解析し、未来の天気を根拠をもって予想する

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	○天気図の作成 個本日の風の流れや衛星画像の気象観測データにより、今日の天気図を作成する。	本日の気象観測データに速やかに接続させる。	
展開 (35分)	<b>気象観測データから、気象現象を推察し、明日の天気予報を作ろう</b>		
	<p>○意見交換 集個人で作成した本日の天気図を持ち寄り、そのように予想した根拠について意見交換を行う。</p> <p>○グループ発表 集意見を集約しグループで一つの天気図を作成し、その天気図から今日・明日の天気予報文を作成し、グループごとの発表を行う。 ★【活動の工夫】天気図の作成、実際の天気図との比較を通じて、気象データについての理解を深める。</p> <p>集気象庁発表の本日の天気図と照らし合わせ天気図を修正する。また修正した天気図から今日・明日の天気予報にも修正を加える。</p>	<p>使用できるデータ (1)気象衛星ひまわりの赤外画像 (2)気象庁ホームページ(雨雲レーダー) (3)earth・地球の風【風】 (4)earth・地球の風【雲水量】 (5)その他、天気図・天気予報の記載のない各種データ</p> <p>各グループで発表用に天気図を検討し、教室内に提示する。</p> <p>他のグループの意見や本日発表の天気図から、不足する知識を補い、作成した天気図と予報文に修正を加える。</p>	<p>【主】 科学的な根拠に基づいて予想を修正したり、見直したりしている。(天気図)(ワークシート)</p> <p>【知・技】 単なる当て推量や憶測ではなく、根拠にもとづいて予想したり、天気図を作成したりしている。(天気図)</p>
終末 (10分)	○まとめ 個練馬区住民向けの30秒天気予報を作成し、発表を行う。	自分の言葉で明日の天気予報文を作成するように促す。	【思・判・表】 区民に対して的確な情報を伝えられる内容となっている。(発表)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。

# 理科学習指導略案

日 時 令和5年1月20日(金)5校時

対 象 第2学年D組

場 所 第一理科室

## 1 単元(題材)名 静電気と電流

## 2 単元の評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学びに取り組む態度】
・静電気や放電に関する事物・現象について観察、実験などを行い、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につける。	・静電気や放電に関する事物・現象の中から問題を見だし、その解決方法を考えて、観察、実験を行ったり、得られた事実に基づいて規則性を見いだしたりして問題を解決するとともに創意ある観察、実験に取り組もうとしている。	・静電気や放電に関する事物・現象に関心をもち、意欲的に観察、実験を行い、それらの事象を日常生活と関連付けて考察しようとする。

## 3 展開 (全4時間)

時 間	○学習内容・学習活動 ★【活動の工夫・問いの工夫】
1 (本時)	○身近な静電気について考えてみる ・ストローを使った実験 ・静電気の特徴の考察 $\boxed{\text{個}}$ ★【問いの工夫】なぜストローとティッシュで異なる結果が得られたのか。 ★【活動の工夫】静電気発生の仕組みを知る前に予想を立て、共有することで、その後の学習への意欲を喚起する。 ○静電気が発生する仕組み ・静電気発生のしくみを考える $\boxed{\text{集}}$
2	○静電気が発生する仕組みについて理解する ・電子が生じる理由について説明する $\boxed{\text{個}}$
3	○電流の正体について理解する ・真空放電の実験を行い、真空放電について理解する。 $\boxed{\text{個}}$ ・クルックス管を用いて陰極線を観察する $\boxed{\text{個}}$ ・陰極線の流れから陰極線は-を帯びたものの流れであると理解する。 $\boxed{\text{集}}$
4	○電子について理解する ・陰極線の小さな粒子の正体は電子であることを理解する。 $\boxed{\text{個}}$
5	○放射線の性質について理解する ・放射線が身近にどのようなものに使われているか調べる。 $\boxed{\text{個}}$ ・調べたことについてグループで意見交換する。 $\boxed{\text{集}}$

#### 4 本時の展開

ねらい:身近な静電気について考え、静電気が発生する仕組みを考える

時間	○学習内容・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (10分)	○静電気について考える ・身近に存在する静電気、また静電気のように触れなくても働く力を挙げさせる。		
展開 (25分)	<input type="checkbox"/> ストローとティッシュをこすり、ストロー、ティッシュでそれぞれ近づけた時にどのような動きをするか予想する。  <input type="checkbox"/> ストローと紙を使って静電気を発生させる。  ・結果をまとめさせる。 <input type="checkbox"/>	・実験はペア、予想は個人で取り組ませる。	
	静電気はどのような時に発生するか考えてみよう。		
	○結果の考察 <input type="checkbox"/> プリントの考察を埋める。 <input type="checkbox"/> 集班で考察を考えさせる。  ・班ごとに出てきた意見を発表する。		【主】 周囲の考えも取り入れながら、静電気の発生の規則性を予想しようとしている。 (ワークシート)
終末 (15分)	・塩化ビニル棒を使ってビニール紐を浮かせる方法を考えさせる。  ・紐が浮いた理由について考えさせる。  <input type="checkbox"/> 今日の授業の感想を記入する。		【思・判・表】 考察したことをもとに方法を考え、実践して、その結果をまとめようとしている。 (ワークシート)

#### ○授業観察の視点(全教員共通)

- ①主体的に考え、学びに向かう姿勢を引き出すための工夫はどうであったか。
- ②問いの工夫、場面の工夫は主体性を引き出すのに適切であったか。
- ③生徒は主体性を発揮できていたか。